

連携ファミリーサポート（CFS）サービスに関わる プロバイダーを募集 ファクトシート

CFSについて：

連携ファミリーサポート（CFS）は、家族との同居を選択する発達障害を持つ成人のために考案された新しいサービスモデルです。CFSは、「家族の住む家で生活することを選択した成人家族が利用できるサービスが不足している」という、家族の方々から頂いたご意見に応じて生まれました。

CFSサービスは、サービスを受ける方およびその家族／介護者のニーズや希望の変化に合わせて、個別に柔軟に調整されます。CFSは、地域センターのサービスを受けている成人とその家族の方が受けるサービスやサポートの連携と計画を支援することを目的に作られたものです。また、ご本人と家族の方が受けられる可能性のある他のサービスを利用する方法を案内することができます。

CFSは、生活状況が変わった場合のご本人の希望を誰もが理解できるように、将来の計画を立てるのに役立ちます。また、ご本人や家族の方を支援する方々に研修を実施することもできます。これは、移動手段を特定したり、通常のプロバイダーが利用できない場合のために代替りのプロバイダーを見つけることに役立ちます。地域のセルフ・アドボカシー団体のご紹介についても、CFSがお手伝いします。CFSを通じて提供されるサポートは、ご本人とその家族の文化、民族性、希望する言語を尊重した形で提供されます。CFSで提供されるサービスの詳細と料金については、以下をご参照ください：

<https://www.dds.ca.gov/services/coordinated-family-support-service/>

CFSプロバイダーの候補者：

これは、知識、技術、能力を活かして、地域で高まるニーズに応えることのできるユニークな機会です。現在のサービスプロバイダーの方には、CFSを含むサービスポートフォリオの拡張を検討することを推奨します。また、発達障害を持つ方やその家族、特に多様なバックグラウンドを持つ人々への貢献に興味のある方は、CFSプロバイダーになることをぜひご検討ください。CFSプロバイダーは地域センターによって「委託先」となり、以下の要件を満たす必要があります：

- 家族と共に働くCFSスタッフは、消費者の希望言語でコミュニケーションをとり、消費者と家族の文化を尊重しなければなりません。
- 家族と直接関わるCFSスタッフは、福祉サービス分野の学士号を取得している、または3年間のサービス連携/支援の経験があることが条件となります。
- スーパーバイザーは、福祉サービス分野の修士号、または福祉サービス分野の学士号を取得し、かつ3年間のサービス連携/支援の経験があることが条件となります。

CFSおよび委託プロセスの詳細については、こちらまでお問い合わせください：

